

米原で創業する

市内の地域資源を活用した、先進的で持続可能な創業等を支援する「創業・新事業創出支援事業」。

制度を活用して、新しく事業を立ち上げた2人を紹介します。

〇市農林商工課

☎53-5146

📠53-5139

田舎暮らしと
大好きな山城の魅力を伝えたい

ゲストハウス「うむ」かわむら ちえ川村千恵さん
長浜市から上平寺へ移住。
「戦国」と「山城」をテーマにしたゲストハウスを上平寺で開業する。

戦国武将京極氏ゆかりの地、上平寺でゲストハウス「うむ」の開業に取り組む川村千恵さん。地域資源を生かした事業を始めたこの思いで、今回の事業に名乗りを上げました。

―開業するきっかけは

元々、長浜市内で相談員として空き家対策に関わっていたんです。空き家の増加を見てきて、自分で直接何かしなきゃと考えようになりました。

この家は、市の空き家バンクに登録されていて、石垣に囲まれた佇まいがとても魅力的で。私は、山城や歴史に興味があつてライフワークとして取り組んでいたのですが、この場所を情報発信拠点にして、地域の皆さんと盛り上げていくことができなかなと考えるようになりました。

―移住していかがですか

上平寺には知人もいて、地域の皆さんに温かく迎えてもらいました。上平寺城の保存継承活動に取り組まれている方々のほか、他の山城や京極氏の歴史に

関わりのある人とも連携して、山城の魅力を体験できるツアーが企画できればいいですね。また、食文化を研究されているグループもあつて、お仲間に入れていただいで、食を通じた発信もしていきたいですね。

―創業プランはどのように

市と商工会が主催する「まいばら経営塾」に参加して経営計画を何度も練り直しました。

田舎暮らし体験ができる長期滞在も可能なゲストハウス、地域の魅力発信ができる場所の運営と、自分のやりたいことが整理できました。また、長期的なことも含めて相談でき、安心して進めることができました。

創業したい人は、こうした相談体制や支援事業を活用してみるのがいいと思います。心強い味方になってくれますよ。



麺工房「伊吹長兵衛」いぶきくにがず 膳吹邦一さん

伊吹在住。在来種伊吹そばを石臼で自家製粉と手打ち製麺し、道の駅等で販売する事業を通じて、伊吹そばブランド普及に取り組む。

暮らしフト研究所 ふじ たも たけ 藤田知丈さん

島根県出身、曲谷在住。
カフェレストラン「MAGATANIA」を整備。
「膳吹さんをお願いして、健康と美味しさにこだわったそばを準備しています。」



米原で創業する 十割伊吹そばの挑戦

ーカフェに提供するきつかけは
私が所属する農事組合法人ブレスファーム伊吹では、「蕎麦の里伊吹」を約1年前にオープンし、現在、市内で伊吹そばを扱う飲食店は4店舗になります。
今回、藤田さんから「MAGATANIA」で小麦を使わないグルテンフリーの十割そばを提供できないかとお話をいただいたので、伊吹そばの普及による消費と生産の拡大、また、地域ブランド化を目指して挑戦することを決めました。こうした活動で地域を盛り上げていきたいと思っています。

曲谷にある約2ヘクタールの広場と集会施設を活用して、6月11日にオープンするカフェレストラン「MAGATANIA」。ここに在来種伊吹そばを提供する伊吹の麺工房「伊吹長兵衛」の膳吹邦一さんに、思いを伺いました。



ー市の支援制度の活用は

脱皮機と石臼製粉機を麺工房へ導入するため、活用させていただきました。

カフェには毎週日曜日に提供する予定です。コロナ禍で健康食材としての注目度も高まっている十割そばを、市民のみさんにもぜひ味わっていただきたいですね。



6月11日(金)オープン!

マガタニア
MAGATANIA

無添加・無農薬のヴィーガンメニューの一環として伊吹そばも楽しめる癒やしの拠点施設。詳しくはウェブサイトへ。



米原市の創業支援・米原市SOHOビジネスオフィス

創業・新事業創出支援事業って?

創業・新事業創出支援事業は、経済を活性化させるため市内の地域資源を活用した先進的で持続可能な創業や新事業の事業計画を募集し、専門家による評価委員会で評価を得た事業に対して、市が補助する仕組みです。
詳しくは次号(7月号)でお知らせします。

米原市SOHOビジネスオフィス

市内で起業・創業をする人への無料相談や事業活動のサポートを行うビジネスオフィスです。創業間もない人が利用可能な入居施設も備えています。
〒692-2137 県立文化産業交流会館内
☎52-9200 ㊟52-9211
詳しくは次号(7月号)でお知らせします。